

平内町
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
結果報告書

令和2年3月
青森県 平内町

目 次

第1章 調査の実施概要	3
1 調査の目的.....	3
2 調査の内容.....	3
3 電算処理及び報告書の記載方法.....	4
(1) 電算処理.....	4
(2) 報告書の記載方法.....	4
4 調査票の配布と回答状況.....	4
(1) 有効回答者数と回答率.....	4
(2) 有効回答者の年齢階級別の状況.....	5
(3) 有効回答者の属性.....	6
5 地域課題のまとめ.....	7
(1) 「小湊地区」の課題.....	8
(2) 「東地区」の課題.....	9
(3) 「西地区」の課題.....	10
第2章 一般高齢者の調査結果	13
1 家族構成や生活状況について.....	13
(1) 家族構成及び昼間独居者の状況.....	13
(2) 日常生活における介護（介助）の状況.....	14
(3) 現在の経済状況.....	15
(4) 現在の居住環境.....	16
2 からだを動かすことについて.....	17
(1) 運動機能の状況.....	17
(2) 外出の状況.....	19
3 食べることについて.....	24
(1) 体格指数（BMI）の状況.....	24
(2) 歯・口腔の状況.....	25
(3) 食事の状況.....	27
4 毎日の生活について.....	28
(1) IADL（手段的自立度）の状況.....	28
(2) 社会参加（知的能動性）の状況.....	32
(3) 社会参加（社会的役割）の状況.....	33
(4) こころの健康状態.....	35
(5) 物忘れの状況.....	37

5	地域での活動について	40
	（1）グループ活動等の状況.....	40
	（2）地域づくりに対する参加希望.....	42
	（3）地域でできる支援について.....	43
6	たすけあいについて	44
	（1）困った際に頼る相手または頼られる相手.....	44
	（2）友人・知人との交流状況.....	46
7	健康について.....	48
	（1）健康状態.....	48
	（2）疾病と喫煙や飲酒の状況.....	48
	（3）通院の状況.....	51
8	認知症にかかる相談窓口の把握について.....	51

第3章 要支援者の調査結果55

1	家族構成や生活状況について.....	55
	（1）家族構成及び昼間独居者の状況.....	55
	（2）日常生活における介護（介助）の状況.....	56
	（3）現在の経済状況.....	57
	（4）現在の居住環境.....	57
2	からだを動かすことについて.....	58
	（1）運動機能の状況.....	58
	（2）外出の状況.....	60
3	食べることについて.....	62
	（1）体格指数（BMI）の状況.....	62
	（2）歯・口腔の状況.....	62
	（3）食事の状況.....	64
4	毎日の生活について.....	65
	（1）IADL（手段的自立度）の状況.....	65
	（2）社会参加（知的能動性）の状況.....	67
	（3）社会参加（社会的役割）の状況.....	68
	（4）こころの健康状態.....	69
	（5）物忘れの状況.....	70
5	地域での活動について.....	72
	（1）グループ活動等の状況.....	72
	（2）地域づくりに対する参加希望.....	72
	（3）地域でできる支援について.....	73
6	たすけあいについて.....	74
	（1）困った際に頼る相手または頼られる相手.....	74

(2) 友人・知人との交流状況.....	76
7 健康について.....	77
(1) 健康状態.....	77
(2) 疾病と喫煙や飲酒の状況.....	77
(3) 通院の状況.....	79
8 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	79
第4章 地区別分析.....	83
1 “5つの高齢者像”からみた地域分析.....	84
2 介護予防・日常生活支援総合事業に関する出現率と地域差.....	86
(1) 介護予防事業対象者の状況.....	86
(2) リスクに該当する高齢者の状況.....	87
(3) 生活支援事業対象者の状況.....	91
(4) 生活支援を担う元気高齢者の状況.....	92
3 認知症高齢者に関する出現率と地域差.....	93
(1) 認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者の状況.....	93
4 地域資源等の把握.....	94
(1) 地域活動への参加状況.....	94
(2) 住んでいる地域で高齢者ができる支援.....	96
(3) 社会参加と生きがい.....	99
5 高齢者の公共交通機関の利用状況.....	103
6 健康について.....	105
(1) 高齢者の健康感や幸福感.....	105
(2) 誰かとともに食事をする頻度.....	107
資料編.....	111
1 電算処理の判定条件等.....	111
2 アンケート調査票.....	117

第1章

調査の実施概要

第1章 調査の実施概要

1 調査の目的

「平内町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」の策定にあたって、日常生活圏域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情など、高齢者の生活実態を把握することが必要です。

高齢者の実態を把握することでサービス提供体制を検討し、また、介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用するなど、地域共生社会に向けた地域包括ケアシステムの深化・推進を図るとともに、その基礎資料を得ることを目的としています。

2 調査の内容

要介護認定を受けていない高齢者を対象に、日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題の特定に資することなどを目的としています。

からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康、認知症などに関する項目を調査します。

調査対象者	令和元年12月1日現在、平内町に居住する65歳以上の高齢者（要介護1～5認定者を除く）から1,200人を無作為抽出	
調査期間	令和2年1月31日～2月21日	
調査方法	郵便で調査票を配布・回収する郵送調査法	
調査票の設計	1 あなたのご家族や生活状況について	9設問
	2 からだを動かすことについて	12設問
	3 食べることについて	11設問
	4 毎日の生活について	25設問
	5 地域での活動について	4設問
	6 たすけあいについて	8設問
	7 健康について	9設問
	8 認知症にかかる相談窓口の把握について	2設問
		設問数合計

※調査票は資料編に掲載しています。

3 電算処理及び報告書の記載方法

(1) 電算処理

集計処理にあたっては、回答結果から世帯状況、健康自立度別高齢者像（元気高齢者、旧一次予防事業対象者、介護予防事業対象者、生活支援事業対象者、認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者）の設定条件や、運動器の機能低下リスク、口腔機能の低下リスク、低栄養の傾向リスク、閉じこもり傾向リスク、認知機能低下リスク、うつ傾向リスク等の判定条件を基に行いました。その条件内容は資料編に記載しています。

また、集計表やグラフの%表示は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。

(2) 報告書の記載方法

報告書の記載にあたっては、テーマごとに関連する設問を集約し分析を行っているため、調査票の設問番号順になっていません。グラフや表に記載しているタイトル番号は、調査票の設問番号を用いています。

また、年齢階級別での比較は対象者数が少ない年齢階級については、5歳階級別に記載していない場合や、年齢と関係なく病気や障害等の要因で悪化していることが多い要支援認定者は記載していない場合があります。

報告書に記載している用語について、「一般高齢者」は要支援・要介護認定者を除いた65歳以上高齢者を称しています。また、要支援認定者は「要支援者」として略称を用いています。

4 調査票の配布と回答状況

(1) 有効回答者数と回答率

本調査の回答状況は以下のとおりです。

表 1.1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の回答状況

圏域名	調査対象者数 (人)	調査票の配布数 (人)	有効回答数 (人)	有効回答率 (%)
町全域	4,309	1,200	698	58.2
小湊地区	2,621	748	455	60.8
東地区	872	224	122	54.5
西地区	816	228	121	53.1

(2) 有効回答者の年齢階級別の状況

表 1.2 町全域の性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	645	85	79	54	32	17	5	105	88	79	48	38	15
	100.0	13.2	12.2	8.4	5.0	2.6	0.8	16.3	13.6	12.2	7.4	5.9	2.3
要支援者	53	1	3	0	1	6	2	0	1	5	16	13	5
	100.0	1.9	5.7	0.0	1.9	11.3	3.8	0.0	1.9	9.4	30.2	24.5	9.4

表 1.3 「小湊地区」の性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	426	50	54	31	17	14	5	63	65	58	33	26	10
	100.0	11.7	12.7	7.3	4.0	3.3	1.2	14.8	15.3	13.6	7.7	6.1	2.3
要支援者	29	0	2	0	1	3	2	0	0	5	7	6	3
	100.0	0.0	6.9	0.0	3.4	10.3	6.9	0.0	0.0	17.2	24.1	20.7	10.3

表 1.4 「東地区」の性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	112	14	12	13	9	1	0	24	9	12	6	8	4
	100.0	12.5	10.7	11.6	8.0	0.9	0.0	21.4	8.0	10.7	5.4	7.1	3.6
要支援者	10	1	0	0	0	1	0	0	0	0	6	1	1
	100.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	10.0	10.0

表 1.5 「西地区」の性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
一般高齢者	107	21	13	10	6	2	0	18	14	9	9	4	1
	100.0	19.6	12.1	9.3	5.6	1.9	0.0	16.8	13.1	8.4	8.4	3.7	0.9
要支援者	14	0	1	0	0	2	0	0	1	0	3	6	1
	100.0	0.0	7.1	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	21.4	42.9	7.1

(3) 有効回答者の属性

本調査における有効回答者の属性は以下のとおりです。

図 1.1 回答者区分

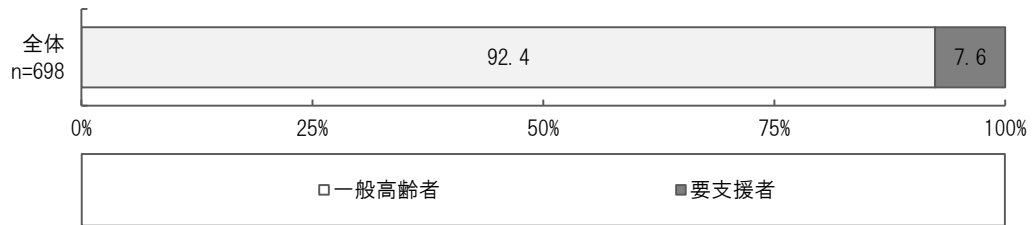
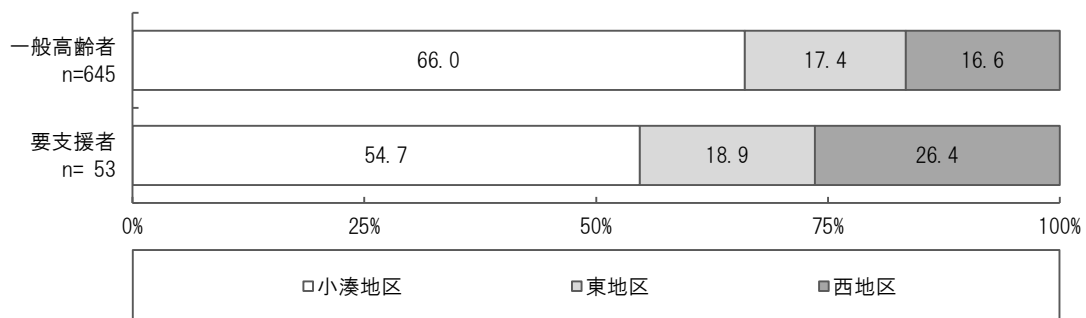


図 1.2 地区別回答者割合

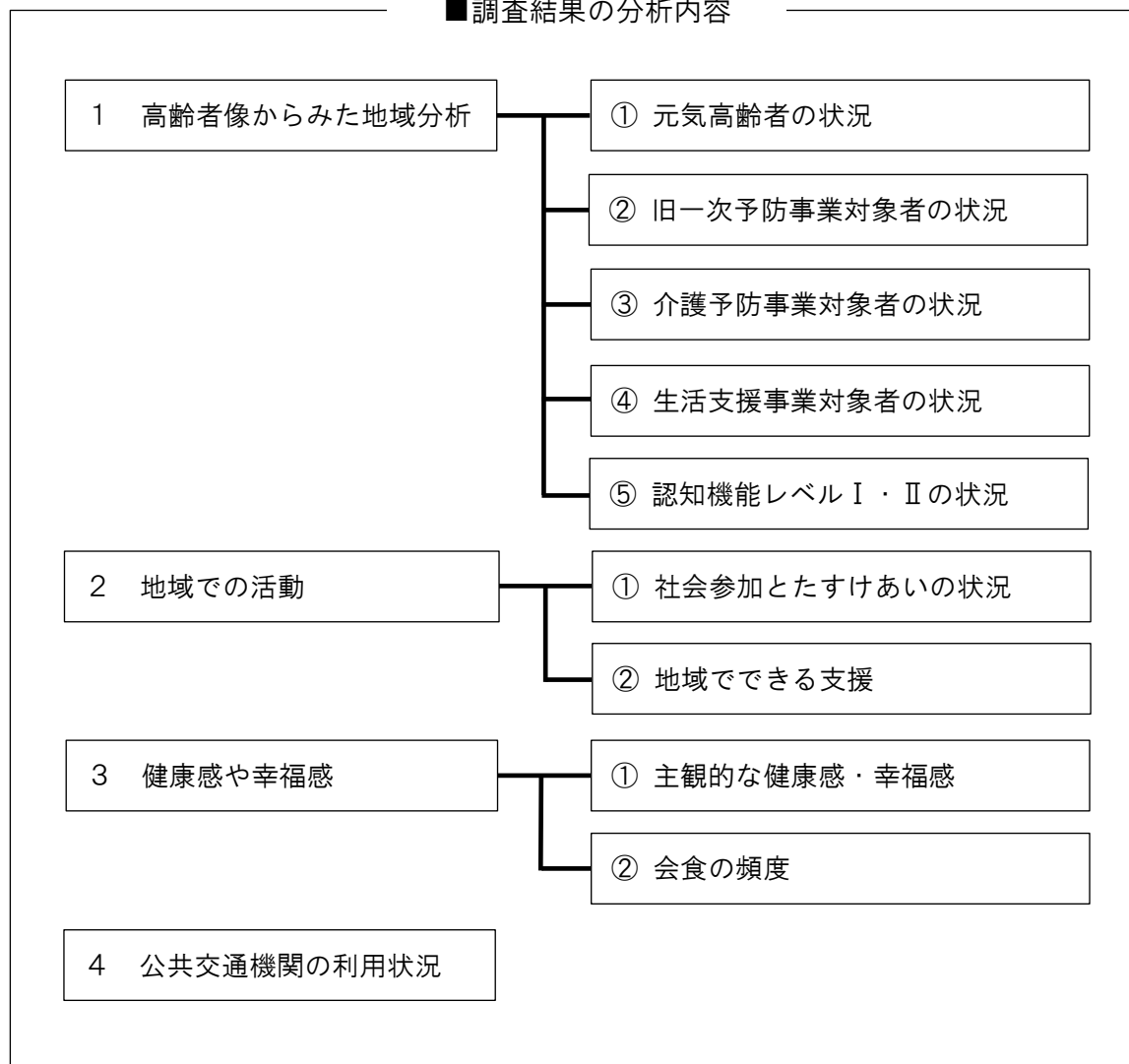


5 地域課題のまとめ

本町の地域課題の抽出にあたっては、要介護認定者を除く一般高齢者と要支援者の方々の調査結果から町平均値等を算出し、3つの地区の調査結果と比較しながら少しでもマイナスとなる数値等の分析項目を抽出し、町平均値との差異を記載しています。

それぞれの分析項目に対しては、各地区が町平均値までに改善またはそれ以上の改善を目指す施策を検討できる調査報告書として作成しました。

■調査結果の分析内容



(1) 「小湊地区」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像からみた地域分析	元気高齢者の状況	○出現率が町平均値より0.6 ^{ポイント} 低い。
	旧一次予防事業対象者の状況	○出現率が町平均値より0.5 ^{ポイント} 低い。
	介護予防事業対象者の状況	○一般高齢者の出現率が町平均値より1.5 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「運動器の機能低下リスク者」の出現率が町平均値より0.5・1.7 ^{ポイント} 高い。 ○要支援者で「低栄養の傾向リスク者」の出現率が町平均値より1.5 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「口腔機能の低下リスク者」の出現率が町平均値より1.5・16.2 ^{ポイント} 高い。 ○要支援者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が町平均値より6.1 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「認知機能の低下リスク者」の出現率が町平均値より1.2・7.7 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「うつ傾向リスク者」の出現率が町平均値より1.9 ^{ポイント} 高い。
	生活支援事業対象者の状況	○一般高齢者で出現率が町平均値より0.3 ^{ポイント} 高い。
	認知機能レベルⅠ・Ⅱの状況	○一般高齢者と要支援者ともに出現率が町平均値より0.4・5.5 ^{ポイント} 高い。
地域での活動	社会参加とたすけあいの状況	○一般高齢者と要支援者ともに地域づくりに対して参加意向割合が町平均値より3.0・6.7 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに地域づくりに対して世話役としての意向割合が町平均値より3.3・5.1 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「通いの場」への参加率が町平均値より0.6・6.0 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「老人クラブ」への参加率が町平均値より0.6 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「町内会・自治会」への参加率が町平均値より0.5 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者の就業率が町平均値より1.2 ^{ポイント} 低い。 (※要支援者は「ボランティアのグループ」「学習・教養サークル」「老人クラブ」「町内会・自治会」「収入のある仕事」の回答者がいません。) ○一般高齢者と要支援者ともに「心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人がいない」方が町平均値より0.5・2.8 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人がいない」方が町平均値より1.1・0.2 ^{ポイント} 高い。
	地域でできる支援	○地域住民(一般高齢者)が行う「配食の手伝い」「掃除・洗濯」「外出同行(通院・散歩など)」「ゴミ出し」「見守り、声かけ」「サロンなど、通いの場のサポート」「外出時の送迎」に関する支援意向割合は町平均値より低い。

調査結果分析		主な課題
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は町平均値より0.9 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者の主観的幸福感の平均点数は町平均点より0.1点低い。
	会食の頻度	○一般高齢者と要支援者ともに「誰かとともに食事することがほとんどない方」の割合は町平均値より1.0・4.0 ^{ポイント} 高い。
公共交通機関の利用状況		○要支援者で公共交通利用率が町平均値より10.7 ^{ポイント} 低い。

(2) 「東地区」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の 状況	○特に課題等は見当たりません。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が町平均値より0.1 ^{ポイント} 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○一般高齢者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が町平均値より1.5 ^{ポイント} 高い。
		○一般高齢者で「低栄養の傾向リスク者」の出現率が町平均値より0.4 ^{ポイント} 高い。
		○一般高齢者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が町平均値より7.0 ^{ポイント} 高い。 ○要支援者で「うつ傾向リスク者」の出現率が町平均値より10.2 ^{ポイント} 高い。
生活支援事業 対象者の状況	○一般高齢者と要支援者ともに出現率が町平均値より4.8・2.6 ^{ポイント} 高い。	
認知機能レベル I・IIの状況	○特に課題等は見当たりません。	
地域での活動	社会参加と たすけあいの状況	○要支援者で地域づくりに対して世話役としての意向割合が町平均値より8.9 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が町平均値より1.3 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が町平均値より3.5 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「趣味関係のグループ」への参加率が町平均値より1.6 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「学習・教養サークル」への参加率が町平均値より0.2 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「老人クラブ」への参加率が町平均値より1.2 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「町内会・自治会」への参加率が町平均値より1.8 ^{ポイント} 低い。 (※要支援者は「ボランティアのグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「老人クラブ」「町内会・自治会」「収入のある仕事」の回答者がいません。) ○要支援者で「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人がいない」方が町平均値より13.0 ^{ポイント} 高い。

調査結果分析		主な課題
	地域でできる支援	○地域住民（一般高齢者）が行う「調理」「買い物代行」「サロンなど、通いの場のサポート」に関する支援意向割合は町平均値より低い。
健康感や幸福感	主観的な健康感・幸福感	○要支援者の主観的幸福感の平均点数は町平均点より0.5点低い。
	会食の頻度	○一般高齢者で「誰かとともに食事することがほとんどない方」の割合は町平均値より0.4 ^{ポイント} 高い。
公共交通機関の利用状況		○一般高齢者で公共交通利用率が町平均値より10.6 ^{ポイント} 低い。

(3)「西地区」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像からみた地域分析	元気高齢者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	旧一次予防事業対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	介護予防事業対象者の状況	○要支援者の出現率が町平均値より2.3 ^{ポイント} 高い。 ○要支援者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が町平均値より11.0 ^{ポイント} 高い。 ○要支援者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が町平均値より8.0 ^{ポイント} 高い。 ○一般高齢者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が町平均値より0.3 ^{ポイント} 高い。
	生活支援事業対象者の状況	○要支援者で出現率が町平均値より8.3 ^{ポイント} 高い。
	認知機能レベルⅠ・Ⅱの状況	○一般高齢者で出現率が町平均値より0.1 ^{ポイント} 高い。
地域での活動	社会参加とたすけあいの状況	○一般高齢者で「ボランティアのグループ」への参加率が町平均値より0.3 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「趣味関係のグループ」への参加率が町平均値より1.5 ^{ポイント} 低い。 ○一般高齢者で「学習・教養サークル」への参加率が町平均値より2.0 ^{ポイント} 低い。 (※要支援者は「ボランティアのグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「町内会・自治会」の回答者がいません。)
	地域でできる支援	○特に課題等は見当たりません。
健康感や幸福感	主観的な健康感・幸福感	○要支援者の主観的幸福感の平均点数は町平均点より0.5点低い。
	会食の頻度	○特に課題等は見当たりません。
公共交通機関の利用状況		○特に課題等は見当たりません。